



# 『東北圏だより』



## 高齢化等集落の自立と活性化に向けた「あきた元気ムラ」づくりについて

秋田県

秋田県では過疎化、高齢化による集落機能の低下が重要な課題となっており、集落の自立・活性化を支援するため、平成21年に専任組織「活力ある農村集落づくり推進チーム」を設置しました。まず始めに、全県52集落、1,000戸を対象とした戸別訪問による地域のお宝や問題等の聞き取り調査（大規模集落点検）を行い、その結果、各集落の持つ自立と活性化に向けた潜在能力、魅力及び課題を把握しました。また、活性化に向けて新たな事業にチャレンジする集落への支援のほか、自治会の新たな財源づくりや、集落間の交流を促進しています。

写真は24年に実施した「あきた元気ムラ大交流会」の様子です。当日は31地域150集落のほか、企業・学生の方々など総勢270名が参加し、集落活動の紹介やPRを行ったほか、



▲あきた元気ムラ大交流会2012

集落の方々を持ち寄った伝統食や工芸品の数々を並べての交流に加え、伝統の技（わら細工）や伝統の味（米を使ったスイーツ）をテーマにした特設コーナーを開設しました。その後、この交流会をきっかけとして6件の集落間交流が生まれ、それぞれの集落にとって新たな地域づくりに取り組むきっかけとなりました。

この9月には「あきた元気ムラ大交流会2013」を開催することとしており、秋田県内の各集落に加え、青森県や岩手県の多数の集落からも参加いただく予定です。交流会では、自主防災、除雪支援、新たな収入源づくり、健康づくりをテーマとした集落の取組発表や持ち寄った地域の自慢の料理や特産品を囲みながら様々な課題や特色を持つ集落同士での情報交換を通じて、各集落間の新たなつながりの創出及び地域づくり活動の発展を目指します。

また、今年度、新たに県内8地区の元気ムラが連携して、天然物の山菜を千葉県のスーパーに共同出荷する取組を始めました。県の担当者が週1回、スーパーから注文を受け、8地域に数量や種類を配分します。それをもとに地域の人々が収穫した山菜等をクール便で、首都圏の消費者へお届けしています。



▲千葉県スーパーへの共同出荷の様子

今後は、集落と県内外の多様な主体との連携・交流をコーディネートする広域連携推進員の設置や「あきた元気ムラ！」サイトによる情報発信等の四年間の活動を通じて、これまで218集落、約2万人により展開されている住民主体の地域経営のノウハウを全県域に広げ、住民自治組織が主体的に地域の問題を発掘し課題解決していく「地域コミュニティネットワーク」づくりを推進していきます。

## 【手づくり郷土賞】個性的で魅力ある地域づくりを表彰します 東北地方整備局 企画部 企画課

全国各地において、地域の魅力や個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を、好事例として広く紹介することで、個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が進むことを目指し、「手づくり

郷土賞」として表彰しています。「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、今年度で28回目の開催となる国

土交通大臣表彰制度です。昨年度は、秋田県大館市『<sup>しゃかないかみなか</sup>釈迦内上中通り「親水公園」(泥沼再生)』が受賞いたしました。生活排水の流入や雑草で問題視されていた、ため池の再生に向けて、地元住民が立ち上がり、活動の輪が地域コミュニティの結束を強化するに至ったという点が評価されての受賞となりました。



平成24年度手づくり郷土賞一般部門受賞 『釈迦内(しゃかないかみなか)通り「親水公園」(泥沼再生)』

今年度の募集は終了してしまいましたが、身近に応募できる取り組み等がございましたら、来年度はぜひ応募をお待ちしています。手づくり郷土賞ホームページ<http://www.thrmlit.go.jp/Bumon/B00097/K00360/tezukurifurusato/index.html>

## 都市・住宅事業出張相談会

東北地方整備局建設部都市・住宅整備課では、東北各県のご協力をいただき、6月～7月に社会資本整備総合交付金等を活用したまちづくり・住まいづくりを進める東北6県の地方公共団体を支援するため出張相談会を開催しました。

出張相談会では、平成25年度予算の状況、これからのまちづくりの方向性、耐震改修促進法の改正等の情報提供を行った後に、地方公共団体のみなさまから、事業展開を行ううえでの課題や悩んでいる事など個別に相談会を行いました。

個別相談会では、36市町の地方公共団体から「都市再生整備計画事業」や「街なみ環境整備事業」等の活用に向けた社会資本整備計画の作成方法、歴史的資源を活かしたまちづくり、空き家対策等の各市町村の課題に応じた幅広い都市・住宅分野のご相談をいただきました。

これからも各県・市町村のみなさまと密接に連携して東北のまちづくり・住まいづくりを進めていきたいと思っております。

お気軽にお問合せ下さい。



▲国土交通省の動向説明



▲個別相談会の実施状況

### 平成25年度の開催状況

- 青森県 6月 7日(金) アピオあおもり
- 岩手県 7月12日(金) 盛岡地方合同庁舎
- 宮城県 6月17日(月) 宮城県自治会館
- 秋田県 7月 3日(水) 秋田地方総合庁舎
- 山形県 6月14日(金) 山形県自治会館
- 福島県 7月 8日(月) アクティブシニアセンターアオウゼ

## 編集後記

今年の夏は、「記録的な豪雨」による被害が東北各地であり、防災機関を含め関係者の皆様ご苦労様です。実は8月の秋田・岩手県での豪雨時に秋田に出張しており、秋田新幹線の運休に伴い「秋田→横手→北上と在来線」を乗り継ぎ、「北上から新幹線」でようやく仙台まで戻りました。実際に自分が災害の渦中に身を置くことになった訳ですが、改めて公共交通機関の代替性や高速交通ネットワークの必要性を実感したところです。

これから、本格的な台風シーズンになりますが、関係者の皆様のご尽力をお願いいたします。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。

メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp